

2021年7月20日  
アルベルト  
株式会社ALBERT

**【ALBERT】 GPU サーバーを増設し、深層学習等の実装を加速  
～自社の計算環境の増強により大規模データセットや先進的課題への取組みを拡大～**

株式会社 ALBERT（アルベルト、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松本壮志、以下 ALBERT）は、先進性の高い案件の増加や自社の研究開発を更に加速させるため、深層学習（ディープラーニング）をはじめとした機械学習等の高度な計算処理を高速に行うことが可能な GPU サーバーの増設を進め、8月中旬より計算機環境を増強し稼働開始します。

これにより、複雑なアルゴリズムをより精度高く、より迅速に処理することが可能となり、先進技術の実装や研究開発を推進します。

■導入の経緯

ALBERT は AI のシステム実装を視野に入れた産業・企業の開発パートナーとして、「ビッグデータ分析」「AI アルゴリズム開発」「システム実装」等のソリューションを提供しています。約 250 名のデータサイエンティストが在籍しており、クライアント企業の研究開発部門から依頼される先進性の高い案件には、リサーチャーと呼ばれる特に高度な専門知識を有する当社データサイエンティストが対応し、これまでクライアントからも高い評価を得ています\*1。また、研究成果の共同特許出願等にも取り組んでいます。

今回、自社の研究開発の拡大及び先進性の高い案件の増加に伴い、深層学習等の高速演算処理を行う計算機環境強化の必要性が生じたため、本増強に至りました。

\*1…2020年11月18日プレスリリース：<https://www.albert2005.co.jp/release/4932.html>

【研究開発支援サービス詳細について】

<https://www.albert2005.co.jp/service/project/rd/>

■システム概要

ALBERT では昨年より NVIDIA 社の DGX A100 を導入し、動画分析や3次元空間認識技術の研究に利用してきました。この A100 を 8 枚積んだ GPU システムに加え、深層学習技術で重要となってくる単精度演算能力の高い A6000 を 8 枚搭載した GPU システムを新たに 4 基導入します。さらに、システム全体でピーク性能単精度演算能力 1.4PFLOPS (FP32)、前システムの約 9 倍となる GPU クラスタへ増強し、2022 年を目途に運用を開始します。なお、混合精度である FP16 Sparse Tensor では前システムの約 3 倍の 14.9PFLOPS に達し、これらの並列性能効率を上げるべく、最終的には 200Gbps の InfiniBand システムで統合する予定です。

■今後の展望

ロボティクスや3次元空間認識等、先進技術領域における研究開発を更に加速させるべく、引き続き高度 AI 人材の育成・拡充と計算機環境の拡充を図りながら、自社だけでなく企業の開発研究部門への支援等を通して、AI 技術の社会実装に貢献する取り組みを一層推進していきます。

## ■株式会社 ALBERT

所在地 : 東京都新宿区北新宿 2 丁目 21-1

設立日 : 2005 年 7 月 1 日

代表者 : 代表取締役社長 松本壮志

証券コード : 3906 (東京証券取引所マザーズ)

事業内容 : データソリューション事業

AI 活用コンサルティング / ビッグデータ分析 /

AI アルゴリズム構築とシステム開発・運用 / AI を用いた独自プロダクトの提供 /

データサイエンティストの育成支援



### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 ALBERT 経営戦略部 鈴木

TEL : 03-5937-1389 HP : <https://www.albert2005.co.jp/>